

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星つむぎの村
支援対象者・エリア	閑上中学校遺族会の皆様、名取市閑上地区の住民の皆様、福島県伊達市被災された皆様
企画開催地	宮城県名取市閑上、福島県伊達市
企画名称	2019 星を届け隊
実施期間	令和元年 11 月 3 日(日)～令和元年 11 月 5 日(火)

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

「星つむぎの村」は星を通して人々とつながることを目指す集まりです。震災後、何か私達に出来ることは無いかと考え、物資の輸送やボランティアを行い、落ち着いてからエアーで膨らむプラネタリウムと望遠鏡や星空工作を持って、東北の被災された人々を励ますお手伝いをしていこうと考えたのが始めたきっかけです。

今までパルシステム東京からも沢山支えて頂き、毎年東北の各地を訪れました。岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市、南三陸町、石巻市等沿岸地域の仮設住宅の集会所でプラネタリウムや星空工作、観望会を通して地元の方がほっこりとする時間を作っていました。空を見上げることで心も上向きになり、明日への活力の一端となつてもらえたという想いで訪問を続け、心を開いてつらい心情を話してください方も多いいらっしゃいます。何度も訪れている場所では楽しみに待っていてくれる皆さんのがいらっしゃり、子ども達の成長していく姿を見てきました。最近は仮設住宅から公営住宅へ移られ、生活が安定してきたことから求められるものが変わってきました。ここ数年は遺族会の皆様を中心に、あの日の星空を届ける事によって、ご遺族の悲しみに寄り添い前向きな気持ちになる一助を考えています。

街の形は整ってきたけれども、心の復興はまだまだというのが、実際現地を訪れて皆様の御話を聞いて思うことです。「忘れない。ずっと寄り添う。伝える。」を合言葉にこれからも被災地の皆様を私達が出来る方法で支援し、組合員の皆様に被災地の生の様子を伝えていけたらと考えております。

活動の様子（写真など）



※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。